

深海からの来訪者 No.1

深層水の取水中に、珍しい生物が混入することが時々見られます。それらは、深海に生息する生物であるため、普段私達が目にする生物の種類とは違い、かなり珍しいものもいます。深海生物が混入する場所は、主に駿河湾深層水取水供給施設内にある取水ストレーナー内(写真1)で、水深397mと687mの2種類があります。深層水の取水のための施設ではありますが、深海生物の自動採取装置とみなすこともできます。そこで採取された生物の紹介を、機会あるごとに連載していく予定ですので、お楽しみください。



写真1 ストレーナー

初回は、甲殻類バージョンです。

来訪者名：サガミモガニ *Pugettia sagamiensis*

採取月日： 2004年5月27日

採取場所： 水深397m取水ストレーナー内

サイズ： 甲幅28.3mm

雌雄別： 抱卵雌

紹介： 本種(写真2)はクモガニ科に属し、相模湾から土佐湾の水深50~275mの泥・砂底に生息します。本県では、駿河湾特に戸田沖で、底曳き網の漁獲物によく混獲されます。成体でも甲幅は3cm弱程度とされ、今回採取された個体も抱卵していることから、成体雌であることがわかります。



写真2 サガミモガニ

(岡本一利)